

かいぞう

地区広報

’94国際家族年 今こそ家族を見直そう



みゆきヶ丘
稲毛大樹(小四)

笑い声がいつぱい

東阿倉川 木村美月(小五)

私の家は、祖父母、父母、姉の六人家族です。祖父は家で万古の仕事をしています。父が銀行員なので、いつも帰りがおそくなり、家族そろって夕食を囲むことができません。

私は土曜日と日曜日がとても楽しみです。それは家族全員がそろって食事ができるからです。日曜日などは、朝から食卓に笑い声があふれて、とてもにぎやかになります。祖父はドラゴンズのアンド、ヒットやファインプレーがでると盛大な拍手をみんなでおくれます。このような楽しい瞬間はみんなの顔を見るのは、とてもうれしいことです。どんな料理でも家族全員での食事ほどおいしいものはありません。

それに加えて、六人はとても仲よしです。父は祖父母を一番尊敬できる人だと心から思っていますし、祖父母は父をこの家で一番大切な人と私や姉によく言います。母は家族の考えを大切にしています。

家族一人ひとりの思いやりが強いつながりをつくっているのだと信じています。お料理が得意な祖母。人一倍元気な母。音楽好きの姉。祖父や父に囲まれて暮らしている私はしあわせ者です。ぜいたくを言えば、小さい子かわいがりたいから弟や妹がいたらなあど考えることもありません。

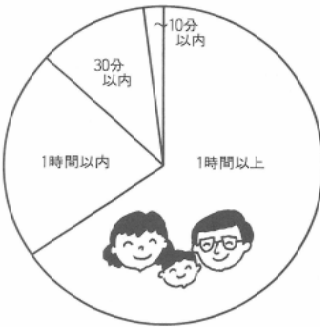
私は、「この家に生まれてよかった。」と本当に思っています。いつまでも、にぎやかな笑い声が聞こえるように、これからも、みんなが互いに優しく助け合っていきたいとおもいます。

わが家発～われら海蔵大家族!!

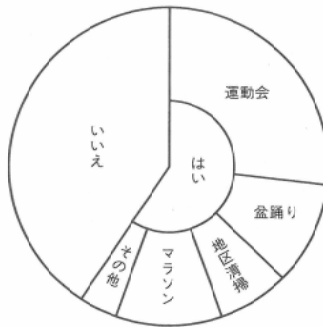
子供達に伝えたい……家族の和～地域の輪

海蔵地区50家族に聞きました

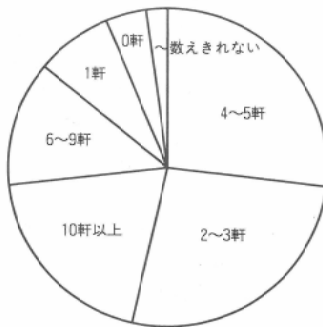
●家族と一緒に過ごす時間は



●この1年間に地域の行事に参加しましたか

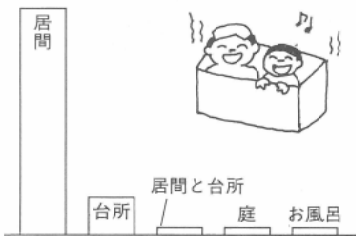


●家族ぐるみのおつきあいは



●ご近所づきあいとは?
 ☆遠い親戚より近くの他人
 ☆いざという時助け合ったり相談したり
 ☆お互い思いやりで

●一緒に過ごす場所



●困っていることは
 ☆家族揃って夕食が出来ない
 ●お子さん、お孫さんとのふれあいの方法は
 ☆食事のときの会話やTVをみる
 ☆犬の散歩、本の読み聞かせ
 ☆家族の役割分担を多くする

●ペットはいますか



野田二丁目 岡本さんご一家

- さくえさん(85才) 久 男さん(25才)
- 積 さん(53才) 真由美さん(25才)
- ひさ子さん(49才) 愛 理さん(1才10ヵ月)

明るく何事も話し合う 我が家は四世代家族

皆様に、お話を伺いました。朝食は家族全員がそろって取り、今日の予定を話し合う、それから各々が仕事に出勤する。真由美さんは、子育てと主婦業、それに農業の手伝いと頑張ってみえます。「同居の良さは、人生経験の豊富なおばあちゃんや、両親の話から色々勉強させてもらっています」と話してくださいました。幼児の愛理ちゃんには、「口で言うより、行いで教えようと、家族全員で心がけています」とご主人の積さん。「近頃は、おおばあちゃんが散歩に出かける時には、先立って履物を揃えに出ます」とひさ子さん、可愛さをかくしきれない様子です。只今、新築中のお家も完成間近。明るく楽しい笑い声が聞こえます。

今年の七月おばあちゃんがキュウリのなえを三本もってきてくれました。わたしたち、兄だいは一本ずつに自分たちの名前をつけてそだてることにしました。まい日、あさばんお水をあげ、三人できょうそうしました。さいしよは十センチぐらいだったのになつのお日さまをいっぱいあびて、ぐんぐんのび、おぼん前に五十センチぐらいになりました。一ばん大きかったのはわたしです。二ばん目はピヨンテでした。

三ばんはピヨンファンでした。わたしはともうれしかったです。ある日、見るとつるが出ていたのでびっくりしました。おかささんがぼうをたてたり、あみをはったり、つるがのぼっていくように作ってくれました。つるはあみにくるくるまきついて、はなれようとしません。まるで手のようです。もうすこしでお花がさきそうです。つばみの下にキュウリの赤ちゃんが顔をみせています。とてもかわいいです。



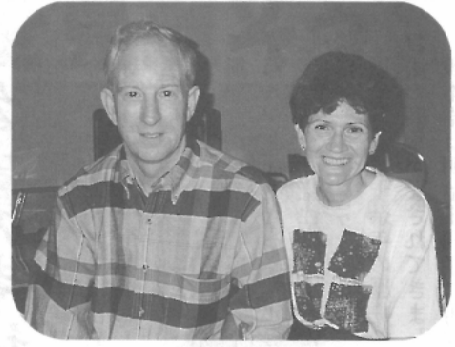
キュウリのきょうだい

四日市朝鮮中級学校
 二年 朴 彩花

「三世同居で同じ仕事（自転車・自動車店）をしているのが我が家の自慢です。なるべく共通の趣味を持つようにしています。」
三ッ谷町 寺本さんご一家



我が家のモットーは「田中流」
♡思いやりを持って接しよう
♡あいさつをきちんとしよう
♡どんな事にでもありがとう
「三世六人がこれを守って
自然体で暮らしています」
みゆきヶ丘 田中さんご一家



アメリカのピッツバークより来日。家族とは助け合いの心が大切と言われるご主人に笑顔でうなづかれる奥様がとても印象的でした。
阿倉川町 ポブリックさんご夫婦



「広い敷地に兄弟二世帯お隣同士」仲良し大家族。モットーは、「家族仲良く暮らすこと」
「家族一緒に行動すること」
西阿倉川 水谷正彦さん
義彦さんご一家

男性4人・女性3人と犬2匹。7人+2匹。
我が家のモットーは、「健康で仲良く暮らすこと」です。
清水町 井上さんご一家



三世代の6人家族。シャム猫が1匹。
人に迷惑をかけずに「皆が仲良く暮らす」ことを心がけています。
本郷町 杉田さんご一家



『食卓』

わかば共同作業所
和光 宏史

笑顔の耐えない食卓に並ぶ数々のおかずを摘み家族団らんの微笑ましい一場面やさしい会話の輪が広がり食欲も一層旺盛になるいつもと変わらぬ共同生活が平凡であっても楽しく過ごせる我が家は終始かわらぬ愛情で親子の絆が固いのは笑顔の食卓から始まるおふくろの味

あなたにとって家族とは

『家族』といえば思い浮かべるもの……ホームドラマの楽しい夕食風景など、笑顔の絶えない団らんの様子でしょうか。でも今日、家族構成やその形態は様変わりして食事イコール団らんとは言いがたいようです。こんな昨今、家族とは一体何なのでしょう。

アンケート回答より

- ☆大切なもの
- ☆お互い心の平安を求める集団
- ☆一番信頼出来る人
- ☆生活の基盤である
- ☆空気がみたいなもの
- ☆楽しみも苦しみも皆で、わけあって一層絆を強くし、団結して生活を送っていくもの



家族もさまざま。四世代同居から二人だけの小さな家族。大きさも形態もさまざまで夫婦、親子、兄弟姉妹……。それこそ空気がみたいで、何でもいえるけれど、一度感情がもつれると他人よりやっかいだったり。
家族——それは喜びや苦しみを共有する中で、一人ひとりを優しく包みこんでくれるものでしょうか。そしてその中には、老いや病や子育てなどいろんな問題も同時に含まれています。核家族化も進んで、もはやそれらの問題は家族の中だけでは解決出来なくなりつつあります。かつては家族の中で当たり前になされていた医療及び老人介護や子育ての諸問題は、行政サービスが確立してゆく過程で地域・社会の問題としてとらえる時代になってきた気がします。
その為にも、家族の中で深めた絆をもとに、それぞれが地域や社会に貢献してゆく事が大切だと思います。幸せな家庭づくりこそ、学びあい助け合い、協力しあえる地域づくりで反映していくのではないのでしょうか。
『国際家族年』にふれて、私達人ひとりが『家族』について話し合い、意識を高めることから始めてみませんか。



7月6日 ジャンボ折鶴に挑戦

ジャンボ折鶴とはどんなものなのかと興味津々でした。地区のお年寄り八十五名と海蔵小二・三年生五十七名の参加で猛暑とは一味違う熱気を味わいました。先ずは挨拶がわりの肩たたき、お次はジャンケン汽車ポッポ。いつの間にか歳の差忘れた真剣ゲームが展開。さてメインのジャンボ折鶴は、五m四方の紙で作りました。あまりにも大きすぎて折り順を思いおこしながらの大奮闘。折り目は足で伸ばし、中へ入ってひっくりかえしてと、記念のお絵かきをしてや々と完成。この日、子供達とお年寄りのかけ橋となった四羽の『大鶴』はそれぞれ皆の心にしつかりと羽ばたいていきました。

福祉の広場



主催
海蔵地区社会福祉協議会



With 障害児・者と共に生きる

障害をもつ人にとってどんな海蔵地区が住み良いのか。障害をもつもたないにかかわらず住み良い地域づくりをめざしましょう!

8月6日「福祉体験教室」

昨年の手話教室に続いて二度目の体験はアイマスクをつけての歩行と車椅子の操作でした。盲導犬は、英国に五千頭、日本に六百頭、四日市に五頭いて当地区に二頭が頑張っているそうです。盲導犬ベルのオーナー山下さんは「盲導犬も子供と同じで、どこにでも連れて歩けば、より親密な間柄になれる」と言われます。

アイマスクでの歩行はやっぱり不安で一杯でした。体験ではほんの少ししかその立場になれないけれど、それが共に生きようとする始まりかなと感じました。今回、何より心強かったのは山手中の福祉委員会の生徒達の参加です。この若い力が地域福祉の原動力となってくれる事を願って止みません。

「海蔵の寺社」

今回は東阿倉川にある上野山眞楽寺(浄土眞宗本願寺派、潤信澄住職)をご紹介します。

当寺の由緒は、往古天台宗として創立されその後、応仁元年本願寺第八代蓮如上人当地化導の際し、当時の了空住職が上人に深く帰依し、六字尊号を賜った。以来五百二十余年の歴史の中でお法の継承がなされてきました。現本堂は明治十四年に再建されまた明治三十七年に内陣の彩色が

シリーズその④

なされ、信仰の殿堂として面目を整えられました。しかし開法の道場として先人たちが身ををかけて建立されましたが九十余年の風雪に耐え屋根の破損が甚だしく昭和五十一年に、屋根葺き替え工事がなされ現在に至っています。

一方、二十一世紀にふさわしい念仏の身教えが子々孫々まで継承するために、いろいろな活動が開かれています。

眞楽寺

特に印象深いのは、年の瀬から元旦にかけて除夜会、修正会が勤まることです。

除夜の鐘は誰でも撞くことができ、多くの人が参加し一個づつ鈴をもらって鐘を撞くのを楽しみにしています。続いて修行される修正会には、多くの子供達が参拝しているのに驚かされます。これは二十五年前より日曜学校が開設されているからと思われま

海蔵地区指標 (H6.10.1現在)	
面積	3.65km ²
人口	11,289人
世帯数	3,844戸

人口の伸びは徐々であるが、核家族化の傾向から左表のとおり、一世帯当りの家族数は、減少しており、現在は2.9人/戸である。

市全体(23地区)の比較では人口、世帯数は12番目、11番目と中央値を示すが、面積は3番目と狭く、従って人口密度は高く、3,085人/km²と4番目である。地区内の人口の多い町(通称町名)のベスト3は、万古町、西阿倉川四区、みゆき二丁目である。

年度	海蔵地区(K)			市全体	
	世帯数(戸)	人口(人)	(人/戸)	世帯数(戸)	人口(人)
1960 (S35)	1,996	8,818	4.4	43,171	195,974
1970 (S45)	2,822	10,652	3.8	58,500	229,234
1980 (S55)	2,933	10,205	3.5	73,991	257,284
1990 (H2)	3,529	10,847	3.1	89,664	276,788

編集後記

『家族』この掛替えない大切なもの、また空気のようなもの。秋の夜長、ご家族揃っての団らん、お話し合いの糧にと願って、お届けします。